

# Weekly コラム

平成 26 年 6 月 17 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

## 活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

## ブレイクダウンの効用

“ブレイクダウン”とは、デジタル大辞泉によれば「分類すること、細かく分析すること、その他機械の故障など」の意味があると説明されていますが、ビジネスにおいて大変重要な意義と実用価値があり、目標管理制度でもしばしば活用されます。

### ◆目標管理におけるブレイクダウン

目標管理制度の運用を例にとって“ブレイクダウン”の持つ意義と実用価値について述べます。

目標管理では、目標の設定と目標達成計画（スケジュールリング）の二つの場面で“ブレイクダウン”の必要が生じます。

#### ①目標のブレイクダウン

会社、部門の戦略や年度計画に基づいて、自部署の目標や個人目標を設定しようとする時、大きな目標を細分化（ブレイクダウン）して、順次小さな具体的な目標へ落とし込むことが必要になります。この「ブレイクダウン作業」を「カスケードダウン（段階的順次細分化）」とも言います。

その際、会社や部門の大きな目標を正確、かつ担当者の役割に合った大きさに切り分けることで、

担当者にとって目標の意味が理解でき、自ら達成に取り組もうとする意欲が湧くレベルまでブレイクダウンすることが大切です。ここで“抜け、漏れ、ダブリ”が生じたりすると、始めから目標達成に赤信号がついたり、大きな無駄が生じてしまいますので、細心の注意が必要になります。

#### ②目標達成計画におけるブレイクダウン

目標が明確になれば、次の手順として、その目標達成までの計画、スケジュールを“見える化”しなければなりません。

その場合、設定した目標に基づいて、その達成にはどのような作業が必要か、担当者が着手、処理することができる大きさまで具体的な作業へ“ブレイクダウン”することが必要になります。

### ◆トップの留意点

トップは、管理者、社員を次のように指導すると、目標管理制度の運用の適正化と目標達成に役立つでしょう。

- (1)目標のブレイクダウンは細心の注意を払い、正確に行なうとともに、“抜け、漏れ、ダブリ”を生じさせない。
- (2)目標達成計画は、できるだけ具体的な作業にブレイクダウンし、分かり易く可視化（見える化）すること。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。